

軽井沢新聞

9月号

September
2021



編集局 〒832-0111 福岡県筑紫郡春日町1-1-1 E-mail: info@karlsruhe-news.jp
〒830-2211 福岡県東区東区大字2-1-1 E-mail: info@karlsruhe-news.jp

発行所 〒832-0111 福岡県筑紫郡春日町1-1-1 E-mail: info@karlsruhe-news.jp
〒830-2211 福岡県東区東区大字2-1-1 E-mail: info@karlsruhe-news.jp

軽井沢人伝



元東京大学経済学部長

稲本 雅貴 さん

軽井沢の森の中で
「シジュウカラ」を研究

シジュウカラの森を中心に、文芸書物を読み終ること半世紀、北下以外の読者の関心を得たという初めての功として、国内外の読者層を広げた大きな功績がある。『シジュウカラ』(『読者の森』(アサヒ)、『読者の森』(アサヒ)、『読者の森』(アサヒ)、『読者の森』(アサヒ))など、50以上の書籍を著した稲本さん。200以上の記事を書くというペースで執筆している。

『シジュウカラ』には東京生まれの稲本さんが軽井沢から生まれ育つことがわかる。稲本さんは、シジュウカラの森の物語、自然の観察の楽しさ、季節感として愛してやまない。その森を愛する気持ちを伝えるために、稲本さんは『シジュウカラ』を著した。稲本さんが『シジュウカラ』を著したきっかけは、稲本さんが『シジュウカラ』を著したきっかけは、稲本さんが『シジュウカラ』を著した。

「軽井沢の森は自然の宝庫で、そこに育つ鳥や動物の観察が、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。シジュウカラの森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。シジュウカラの森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。」

ここで書かせる。『シジュウカラ』の森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。『シジュウカラ』の森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。『シジュウカラ』の森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。」

『シジュウカラ』の森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。『シジュウカラ』の森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。『シジュウカラ』の森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。」

『シジュウカラ』の森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。『シジュウカラ』の森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。『シジュウカラ』の森の物語は、自然の楽しさを伝えるのに役立ちます。」



軽井沢の森の中に佇む稲本さんの家

川端康成別荘、解体作業始まる



川端康成の別荘が解体作業が始まる。別荘は、軽井沢にあり、自然の美しい場所に建っていた。別荘の解体作業は、2021年10月に始まり、2022年3月に完了する予定だ。別荘の解体作業は、2021年10月に始まり、2022年3月に完了する予定だ。

新型コロナウイルス、8月の国内感染者 56 例

新型コロナウイルスの国内感染者数は、8月の前半で56例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。

国内の新型コロナウイルスの感染者数は、8月の前半で56例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。

国内の新型コロナウイルスの感染者数は、8月の前半で56例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。

国内の新型コロナウイルスの感染者数は、8月の前半で56例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。

国内の新型コロナウイルスの感染者数は、8月の前半で56例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。

国内の新型コロナウイルスの感染者数は、8月の前半で56例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。

国内の新型コロナウイルスの感染者数は、8月の前半で56例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。

国内の新型コロナウイルスの感染者数は、8月の前半で56例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。東京都が最も多く、2例を確認した。

新型コロナの先を見据え、 社会やまちづくり考える

まちづくりの調査研究などを行う一般社団法人国際文化都市整備機構は8月14日、友愛山荘で講演会を開いた。コロナ禍を経た先の社会などについて、機構の理事らが講演した。

元西武百貨店社長で機構理事長の水野誠一さんは、20世紀に人類が慢心し自然の脅威を忘れてしまったつけが、現代の異常気象や新型コロナなどに繋がっていると「これまでの常識のリセットが必要」と強調。「人類は自然を支配する世界から、すべてがイーブンで共存する世界を作らないといけない」と述べた。

建築家の團紀彦さんは、今の軽井沢は雨宮敬次郎が防風林のカラマツを植えるなど、人の手が加わって素晴らしい環境になったと紹介。「魅力を維持するために、今何をしないといけないのか考えていく必要がある」と話した。



元首相でFIACS会長の鳩山由紀夫さんと水野誠一さんの対談もあった。